

安全報告書(2010年)



城崎観光株式会社
(城崎温泉ロープウェイ)

1. 利用者の皆さまへ

当社ロープウェイにご乗車いただき、誠に有難うございます。

当社は、法令遵守は勿論のこと、経営理念の第一に「安全の確保」を掲げ、安全輸送に努めています。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取り組みや安全の実態について、自ら振り返るとともに広くご理解を頂くために公表するものです。

皆さまからの声を輸送の安全とサービスの向上に役立てたく、積極的なご意見をお聞かせいただければ幸いです。

城崎観光（株）代表取締役社長 上村 雅道

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下、全職員に周知徹底しています。

- 1) 職員等は協力して、輸送の安全確保に努めること。
- 2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- 3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- 4) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- 5) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- 6) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 安全目標

当社の中期輸送安全目標（H21年度～25年度）は次表のとおりです。社長以下、全職員が目標達成に向けて取り組む所存です。

区 分	項 目	内 容
定量的な 目 標	設備不具合による事故	乗客の死傷を伴う発生件数を「ゼロ」とする
	人身障害事故	発生件数を「ゼロ」とする

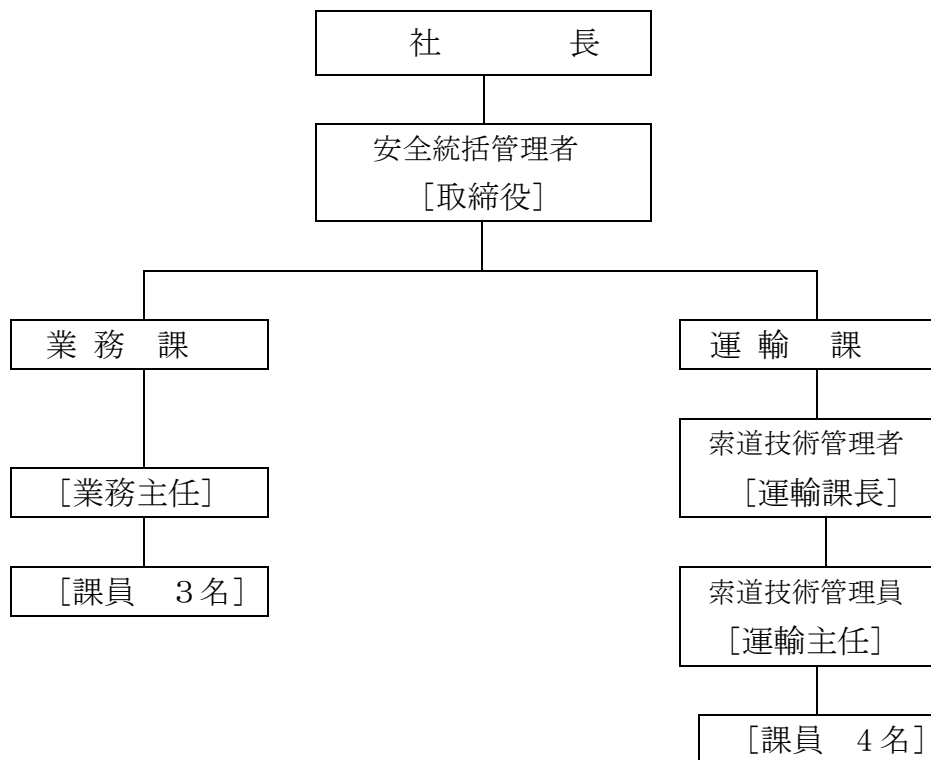
3. 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

社 長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う
取 締 役 (安全統括管理者)	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する
索道技術管理者 (運輸課長)	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括管理する
索道技術管理員 (運輸主任)	索道技術管理者の指揮の下、索道技術管理者の行う業務を補助する

安全管理(指揮命令)体制図

(2010. 3. 31 現在)



4. 事故等の発生状況

平成21年度の状況は、次表のとおりです。

項 目	発 生 状 況
索道運転事故 (索道人身障害事故)	発生事故無し
災害 (地震や暴風雨、豪雪など)	イ、災害(大雨・洪水警報)により、0日 (全日)運行休止 ロ、強風・雷等により、年間19日間 延 べ45時間運行停止
インシデント(事故の兆候)	報告無し
行政指導等	行政指導無し

5. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

当社では、皆さまの安全や輸送に役立つよう、毎朝、営業前にミーティングを行ない、事故事例の周知や安全に対する心構え等、安全教育を実施しています。また、本年度も、運輸局主催で開催される「索道技術管理者研修会」に出席し、安全講習を受講しています。

(21年度は、「安全マネジメント研修」、「リスクアセスメント研修」も受講しています。)

(2) 緊急時対応

①体制の構築等

索道運転事故及び自然災害に備え、緊急時対応体制を構築しています。また、緊急時には対策本部を設置し、緊急・応急・復旧対策にあたります。

21年度は、近畿運輸局により輸送の安全確保の状況・体制等について「運輸安全マネジメント評価」、「保安監査」を受けました。

②訓練の実施

毎年、春・秋の「全国交通安全運動」等の期間を利用して、事故発生を想定した、応急下降(救助)訓練ならびに予備原動機の運転操作訓練を実施しています。また、22年度は豊岡消防署と合同救助訓練の実施を予定しています。

(3) 安全のための投資と支出

安全の維持向上のため、隔月ごとに高圧電気設備の点検を実施しました。

21年度は救助袋を更新しました。なお、22年度には、曳索・平衡索の更新工事等を予定しています。

<H21.9.25 新救助袋での応急下降訓練実施状況>

①降下準備



②乗客乗り込み



6. 利用者の皆さまとの連携とお願い

(1) お客様の声を“かたち”とするように心掛けています

当社は、お客様の期待に応えられるよう、お客様の立場に立ったサービスの提供に努めています。

皆さまからお寄せ頂いた声を真摯に受け止め、より信頼される索道事業とするために役立てさせていただきます。

21年度、お客様からの声を“かたち”にした事例をご紹介します。

<事例1>

「要望・意見」

大師山上駅、機械室の内部を外から見えるようにしてほしい。(小学生の体験学習では機械室内部に入り説明)

トイレ、手摺、看板等が古くなっており、折角の景色も台無しになる。

「実施状況」

①機械室の内部を外から見えるよう引き戸を透明ガラス張りにした。

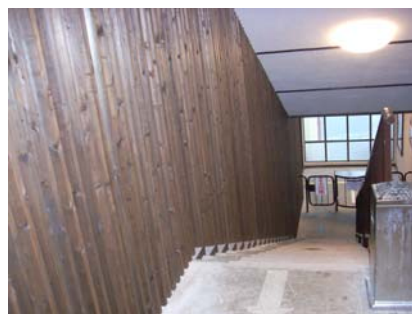
②看板は撤去し、手摺・土間・階段・トイレ等は改修工事を行なった。

③また、温泉寺「奥の院」の改築工事に合わせ、アクセス通路が「奥の院」に相応しいものとなるよう回廊・格子等を設置した。

<事例1 ①実施状況>



<事例1 ②実施状況>



<事例1 ③実施状況>



(2) ロープウェイ乗車時のお願い

- ① ロープウェイに危険物は持ち込まないでください。
- ② ロープウェイから空き缶などを投げ捨てないでください。
- ③ 乗降車時は階段となっているので足元に注意してください。
- ④ 駅ホームや搬器（ゴンドラ）内では係員の指示に従ってください。

7. ご連絡先

本報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

〒 669-6101

兵庫県豊岡市城崎町湯島 806-1

城崎観光株式会社

TEL: 0796-32-2530

FAX: 0796-32-2887

*受付時間 9:00~17:00 (但し、毎月第2, 4木曜日を除く)

